

彫刻家

吉田三郎

小杉放庵

画家・歌人

平塚らいてふ

社会運動家

陶芸家

板谷波山

画家

竹久夢二

東京

田端文士村と

金沢の人びと

詩人・小説家

室生犀星

詩人

萩原朔太郎

作家

中野重治

詩人・評論家

窪川鶴次郎

歌人・国文学者

尾山篤次郎

小説家

芥川龍之介

《開催期間》

平成21年 4月25日(土)～7月5日(日)

開館時間 / 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

【入館料】

一般・大学生 ……300円 高校生以下……………無料
65才以上……………200円 団体(20名以上)…250円

会期中無休

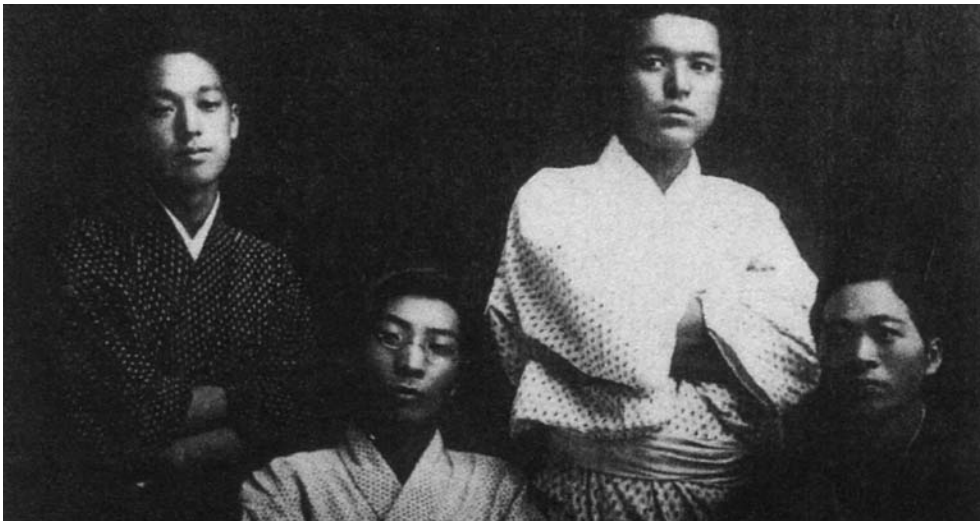
金沢ふるさと偉人館

Great People of Kanazawa Memorial Museum
〒920-0993 金沢市下本多町6番丁18番地4
TEL(076)220-2474 FAX(076)220-2197
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/ijin/>

主催/金沢ふるさと偉人館

東京 田端文士村と金沢の人びと

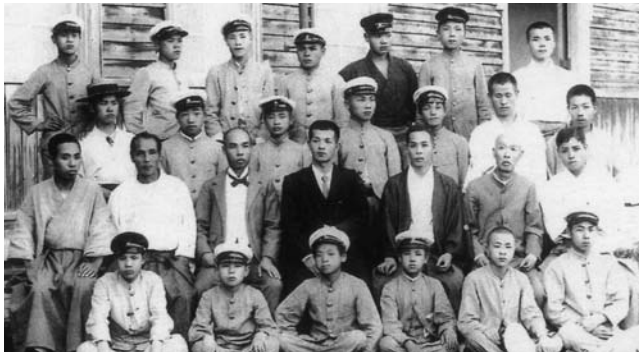
明治後半から大正、昭和の初めにかけて、東京の田端には多くの芸術家や作家が集まりました。このことから田端は《文士村》と呼ばれるようになりました。田端に集まった人びとの中には金沢にゆかりのある人物がたくさんいます。本展では、田端に住んだ金沢ゆかりの人物として、板谷波山(陶芸家)、吉田三郎(彫刻家)、竹久夢二(画家)、室生犀星(詩人・小説家)、尾山篤二郎(歌人)、中野重治(小説家)、窪川鶴次郎(詩人)などを取りあげ紹介します。



同郷の友人たち(左から吉田三郎、室生犀星、田邊孝次、幸崎伊次郎)



室生犀星と長女・朝子
(田端の自宅にて、大正14年)



石川県立工業高校板谷波山離任記念(明治36年)
(2列目中央が板谷波山、その前が吉田三郎)

記念講演会

五月十七日(日)

午後一時三十分

金沢ふるさと偉人館3階

「板谷波山と吉田三郎」

◆講師 寺尾健一氏
(近代工芸史家)

「室生犀星と田端の人びと」

◆講師 笠森 勇氏
(室生犀星記念館館長)

※入館料が必要です

田端文士村の歴史

明治時代の中頃まで、田端周辺は雑木林や田畑が広がる閑静な農村でした。明治二十二年、上野に東京美術学校(現東京芸術大学)が開校され、次第に若い芸術家が集まってきました。

明治三十三年、小杉放庵(洋画)が下宿、三十六年には板谷波山(陶芸)が寮を築きました。その後、波山の教え子であった吉田三郎(彫

常設展「近代日本を支えた偉人たち」のご案内

- 日本近代科学の創始者たち
高峰讓吉 桜井錠二 藤井健次郎 木村 栄
- 創造的技術に挑んだ人たち
八田與一 飯盛里安 谷口吉郎
- 日本の真善美を見つめた人
三宅雪嶺
- 明治三年の奇跡
藤岡作太郎 西田幾多郎 山本良吉 井上友一 鈴木大拙
安宅彌吉
- 美と自然を愛した人びと
北方心泉 細野燕台 中西悟堂

刻らが次々と移り、田端は《芸術家村》となりました。

大正三年には芥川龍之介(小説家)、五年には室生犀星(詩人・小説家)が田端に転居してきました。続いて萩原朔太郎(詩人)や菊池寛(小説家)などの詩人や小説家が集まるようになり、大正末から昭和にかけて田端は《文士村》と呼ばれるようになりました。

金沢ふるさと偉人館

Great People of Kanazawa Memorial Museum
〒920-0993 金沢市下本多町6番丁18番地4
TEL (076) 220-2474 FAX (076) 220-2197
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/ijin/>

交通案内

北鉄バス 本多町下車 徒歩2分
ふるさとバス(菊川ルート) 本多町下車すぐ

